

# いずみ通信

～養泉寺寺報 Vol.5～



## 特集 ～盆参とコロナ禍のお寺～

夏の養泉寺本堂(2020年8月2日)

新型コロナウイルス。今年はこの言葉に尽きるのではないのでしょうか。御門徒の皆さまにも様々な御苦勞、お悩みがおりだろうとお察しいたします。

お寺とて例外ではありません。お寺のいのちである布教の場作りも満足に出来ません。

「お寺はどうなってしまふのだろうか…」「一体この先どうすればいいのだろうか…」まさに試行錯誤の日々です。

そんな中、8月1日、2日と、盆参を勤めました。感染症対策の上、新盆の方のみのお参りとし、お齋は持ち帰りでのご用意としました。法話には特にエネルギーを注ぎ、皆さんが「お参り出来てよかった」「教えのことがよく分かった」と思ってもらえるような時間の共有を

目指しました。お参りいただけの方は少なかったのですが、お一人でも何か伝わるものがあったならば、これほど嬉しいことはありません。

さて、養泉寺の盆参といえば！！塩がしっかりと効いた和吉さんのサバの塩焼きが名物ですが、今回はわがまを聞いていただき、持ち帰りのメニューの中に入れていただきました。いつも通りの美味しいサバの塩焼きを食べ、暑い夏を乗り切るパワーをいただいた気がします。

盆参に限らず、今年は各行事のあり方、勤め方について、どうしたらよいか非常に悩んでいます。他のお寺の中には、「一年間の行事を全て中止にした」というお寺や、逆に「今まで

と変わらずに勤めている」というお寺もありますが、養泉寺では行くことと中止することを慎重に選びながら、少し形を変えながら勤めているという状態です。皆さんのところにも予定等をお配りしていますが、「お寺は聞法道場だ。道を求める人がいる限り、門戸を開き続けなければならない。」という、住職の強い思いを軸にしながら、活動しています。

6月から8月の3ヶ月、何とか聞法の場をもちたいということで、試験的ではありましたが法話会を行いました。28日の親鸞聖人のご命日をご縁とし、お齋のない形でお話に耳を傾けました。その後の茶話会の雰囲気やはり皆人が恋しいのだなあと感じさせられました。

さて、秋の報恩講は予定通り勤めます。内容については、変更点もあります。それでも、今

年一年の総まとめですので、可能な方はお参りお願いします。今年の法話講師には、新潟市から渡邊智龍先生にお越しいたします。

その他にも各種行事あります。また何もない日でもどうぞ本堂にお参り下さい。そしていろいろお話ししましょう。出来ることなら今まで以上に心を“密”にして、語り合いたいと思う今日この頃です。



サバの塩焼きもしっかり入った盆参のお齋。和吉さん、ありがとうございました！



盆参会の法話の様子。

## あなたにインタビュー ～内藤ツイ～

5年前にご主人を亡くされたツイさん。月参りの度に、思い出をお話されるツイさんにインタビューさせていただきました！



—ご主人との歩みを改めて聞かせて下さい。—

内：貧乏なもんと貧乏なもんと一緒になって、何もなくてころから稼ぎ稼ぎやってきました。本当に山あり谷ありでした。因縁あって二人で何もなくてころから築き上げてきました。毎年子供が大きくなると「去年からみると今年はいいいね、子供の道具も増えてきたね」と声を掛け合って、暮らしてきました。

—ご主人が書かれていた日記を読まれているということですが。—

内：今でも毎晩読んでから寝ています。よく書いてあります。私のことがよく書いてあるんです。「妻には頭が下がる」「よく気付いて嫌な顔一つしないでしてくれる」「妻あって俺あり」と書いてくれていたんです。そしていつも「仏さまありがとうございます」と書いてありました。

—夫婦円満の秘訣はありますか？—

内：服従させないことかね。「おめさんがそう言ったってこれはこうだ！」と言わないで、「そうらね、そうらろかね、そうした方がいいかね」と「そんなことを思ったんだな」とお互いが尊重し合う関係で、それが普通でした。

—お子さんやお孫さんがよく来てくれて嬉しいといつも言っておられますが、何か伝えたいことは？—

内：やっぱりね、家庭円満で喧嘩しないで仲良くしていてくれよ、と、いつもそれだけを願っています。

—ご近所さんともいろいろな繋がりがあるようですね。—

内：自分が楽しんでやることで、それをまた喜んでくれるのを見るのが楽しいです。

—最後に…ご主人がもしも今、目の前に現れたとしたら何を伝えたいですか？—

内：やっぱりおめさんと一緒になってよかったです、幸せでした、と伝えたいです。

(2020年7月18日、インタビュー)

# KOTONOHA



今年、新型コロナウイルスによる感染症で世界中が混乱しました。その中で明らかになってきたことは、ウイルスの怖さより人間の怖さではないでしょうか。

デマの頻発、必需品の高値での転売、公共の場での盗難、店員への罵声、などなど…。いろんなことが起こりました。

その中で、感染者への過剰な非難、また一生懸命に働いて下さっている医療従事者やそのご家族を避けたり差別したりするような言葉や行動に、人間の恐ろしさを強く感じました。しかしそういった心は私の中にないでしょうか？ あなたの中にはないでしょうか？

親鸞聖人は、「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」(『歎異抄』)と述べられました。誰もが縁さえ整えば何をするか分からぬ存在なのですよ…、と。

テレビや新聞で報じられる姿は私たち一人一人の姿です。「あなたもそうだよ」という呼びかけです。それをしっかりと自覚できた時、人に対する関わり方や声掛けも変わっていくのでしよう。

今回の新型コロナウイルスによる感染症は私たち人間に何かを問いかけている様な気がします。人間が人間として生きる真の姿を、今こそ見つめ直す時かも知れません。

## 養泉寺の掲示板の言葉 (3月から8月まで)

- 3月 「立っていても倒れても  
ここはあなたの手の平」
- 4月 「いつもと変わらぬ一日は特別な一日」
- 5月 「ウイルスより恐ろしい存在に  
気が付きましたか」
- 6月 「借りた傘 雨があがれば邪魔になる」
- 7月 「目の前の方を ただの人と思うなよ」
- 8月 「密は避けても 御手の中」

## 今年の報恩講の予定

日時 10月27日(火)、28日(水)

日程 【両日】 10:30 法話  
11:40 お勤め、御俗姓拝読(27日のみ)  
12:30 解散(新型コロナウイルスのため、お斎はありません。)

講師 渡邊 智龍 師 (三条教区第18組 恩長寺住職)  
講題 『念仏生活』

持ち物 お念珠、赤い勤行集(寺にもあります)、肩衣(ある方はかけていただくと最も丁寧な服装になります)

備考 ご自分でお寺まで行き来する手段がない方は、遠慮なく連絡下さい。ご自宅まで送り迎えいたします。

講師の  
渡邊智龍師



# PHOTO GALLERY

3月1日 年行司会議



本堂かかりの予決算、年間行事、その他について、各地区の世話方、年行司の皆様から協議していただきました。この会議を受け、毎年皆さまのところにお知らせを発送しています。

3月20日 春彼岸会（お中日）



蓮ちゃん



住職と当院とで内勤めをしました。コロナウイルスの影響がその後あれだけ大きくなろうとは…この時には想像できませんでした。

6月28日 法話会

お勤め、法話の後、大広間に茶話会を行いました。青々とした庭がとても綺麗でした。



7月28日 法話会



多くの方がお参りを心掛けて下さいました。子どもたちもきちんと最後まで参加してくれました。

8月1日、2日 盆参会



あかほんくん



新盆の方のみでしたが、皆さんお参りいただきありがとうございました。晴れ渡った二日間でした！

8月10日  
ようせんじ 夏のこども会

本堂と境内をたっぷり使って、大型紙芝居や親子ヨガ、クイズラリーなどを行いました。バリスタによるコーヒーも好評でした。



鶯恩くん

8月28日 法話会

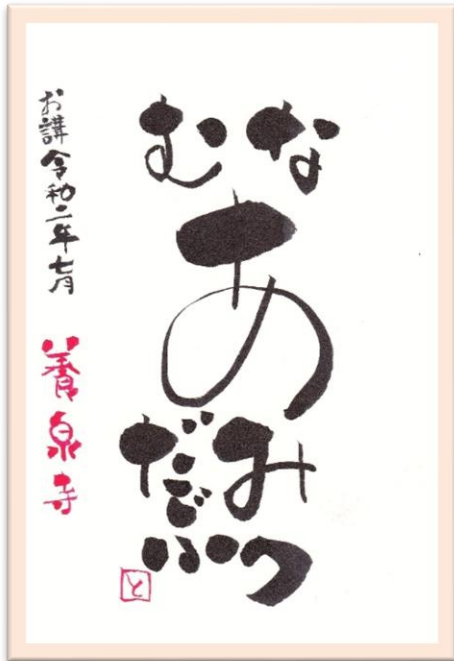
蒸し風呂の様に暑い本堂でしたが、お参りを心掛けて下さった皆さん、ありがとうございました。



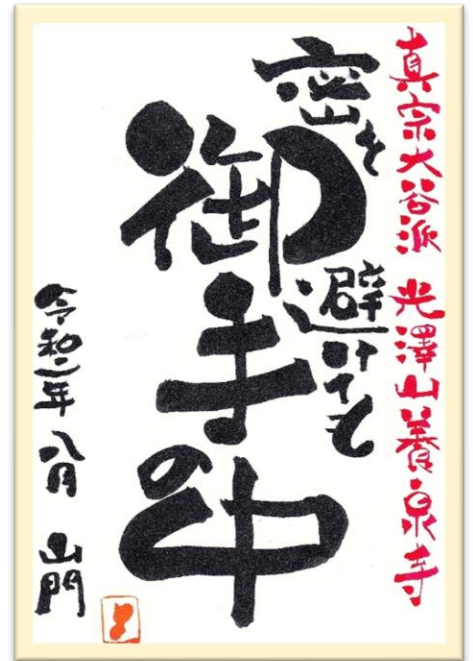
# 法語印コレクション — 最も短い法話 —

浄土真宗では、御朱印というものがありません。しかし時々、「御朱印をいただけますか？」と寺を訪ねて下さる方がおられます。養泉寺では、「せっかくお寺に来て下さったのだから、仏さまの教えに触れる大切なご縁にしてほしい。」との思いから、「御朱印はありません」と断るのではなく、法語（教えの言葉）を中心とした「法語印」を書かせてもらっています。法語は「最も短い法話」だと思います。そんな法語印の一部をご紹介します。

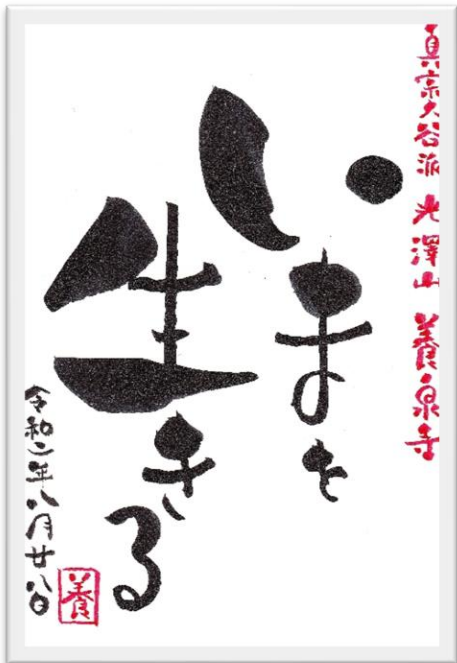
七月の法話会で初めて皆さんにお配りしました。同じものが二つとない法語印。最後に余ったものがこちら。「なむあみだぶつ」が基本ですね☆



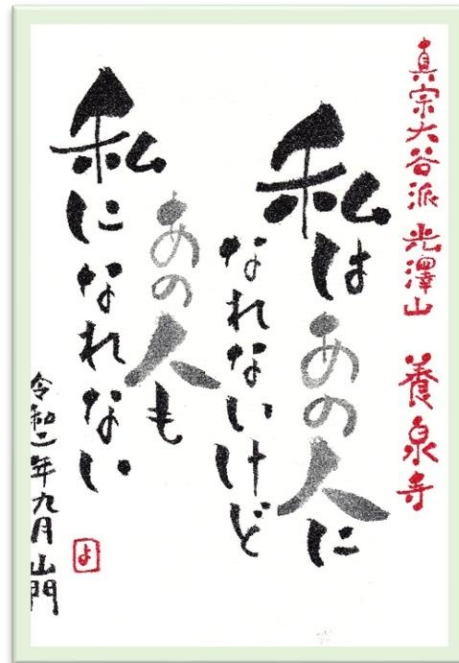
八月の法語印。御朱印帳を持って来た方には山門揭示板の言葉を書くことに決めていたのです。「御手の中」の大きさや深さを文字で表現しています。



八月の法話会でプレゼントさせていただいた法語印。法話のテーマやキーワードを「持ち帰っていただく」ということがコンセプト。



九月の法語印。文字の色や太さを変えながら、雰囲気を出そうと試行錯誤中。同じ言葉でも次書く時には全く違う感じになることも…。



## ひとことMEMO

法語印は基本的に全て、若坊守が書いています。いただきたい方は、ご自身の御朱印帳をお持ちいただければ、いつでもお書きいたします（不在時など書けない時もあります）。また、各行事ごとに限定の法語印を書いてプレゼントすることもあります。少しでもお参りが楽しみになるように、日々考えています。

## 教えて！！ Q & A コーナー

この半年で、御門徒さんからいただいた疑問や質問にお答えします。こんなことを教えてほしい、これをぜひ採り上げてほしい、というリクエストもお待ちしています！！

Q 法名とは何ですか？

A 通夜葬儀の席で聞かれることがあります。「いい戒名を付けていただきました」「この戒名にはどういう意味があるんですか？」と。でもちょっと待って下さい。浄土真宗には「戒名」はなく、「法名」(ほうみょう)といます。

法名は、亡くなった時にいただく名前だと思っている方もおられるでしょうが、違います。法名は、お念仏の教えを聞く、つまり仏教徒として生きる者という自覚の名前です。本来は、真宗門徒として帰敬式(ききょうしき)を受け、生きている今名告る名前です。

男性は「釋〇〇」、女性は「釋尼〇〇」となり、必ず漢字二文字でつけられます。また、住職が決めるもの、本山が決めるものがあり、どちらか選ぶことも出来ます。もちろん自分の希望を取り入れることも出来ます。皆さんも法名をご縁として、仏教徒としての歩みを新しく始めてみませんか？



帰敬式は本山や別院で受けられますが、末寺で受けることも可能です。写真は、新潟市、渡辺さんの帰敬式の様子(2019年4月14日)。

## お寺の裏側 —URATERA—



もっと知ってほしいお寺の情報や、知っているようで知らない仏事の豆知識などを紹介します。

この度、大きな発見がありました。写真の御真影は、本願寺8代目、蓮如上人のお姿です。この掛け軸の裏書きを見ると、寛永13年とあります。それは西暦に直すと1636年です。養泉寺が産声を上げたのが1594年ですので、それから40年ほど経ってはいますが、かなり初期のものだと分かります。

昨年からのこの掛け軸を補修いたしました。その際、表具師さんのご厚意から、別の資料を紹介していただき、この年に養泉寺が本山から「養泉寺」という寺号をいただいているということも分かりました。

それまでは恐らく道場として存在していたものが、この年に初めて寺院化されたということが分かったのです。

また、当時の住職の名前が「浄玄」だということも初めて分かりました。寺へお参りの際には、是非ともご覧いただきたいと思っています。

## 寺族の声 - 編集後記 -

ご門徒の皆様にお渡しするお寺の記念品。いつも頭を悩ませるのですが、庫裏落成記念品だけは、私なりにアイデアが前々から浮かんでいました。

それはすぐに使っていただけるもの、地元の工芸品にしたいこと、予算にかなうもの、等、条件がいろいろあるのですが、それを全てクリアするもの、「これだ!!」と決めていました。

今年2月22日、巻高校合同クラス会が新潟で開かれました。私は部活、ホッケー部仲間の樋浦功氏(旧吉田町本町出身)に会うのを楽しみにしていました。彼はいつの間にか陶芸家になっていたのです。「ボンタ」「和尚」と呼び合う仲でしたから、話はトントン拍子に進み、彼から手作りフリーカップを作ってもらうことに成功しました。良かった…。

サンプル品として、完成品を送っていただき、夫婦で大きさ、深さ等をとことん話し合い、コーヒーでもお酒でもビールでも利用できるものにしようと思いが一致いたしました。その完成品がつい最近納品されました。

榛名山麓の穴窯で、約80時間焼くのだそうです。色合いも全て違い、釉薬の掛け方も違う、養泉寺オリジナルカップの誕生です。どうぞ末永く愛用し、大切にお使い下さい。

文章：住職(倉井静秋)



### 秋の寺泊 神社仏閣散策・写経体験

「寺と庭園コース」に養泉寺も参加しています!

寺泊観光協会主催の秋のイベントに参加しています。庭園や客殿の公開、法語印もお書きします。お申込み、お問い合わせは、寺泊観光協会(Tel 0258-75-3363)まで!

木島の菅沼幸様より、三条声明会の五条袈裟を寄進していただきました。三条別院の報恩講で着用するものです。ありがたく使わせていただきます。



### ヨガ教室、開催中!! 和気あいあいと楽しくやっています☆

毎月第2・4月曜日 13時15分~1時間程度  
詳しくは大矢ひとみ先生まで!!

Tel 090-2980-6293  
Web <http://sonomamanohito.blogspot.jp>

一緒に正信偈のおつとめ練習してみませんか?

当院がおつとめをお教えます。正信偈は基本です。希望者が1名でもいれば、日時を合わせてお教えます。とにかくまずは連絡を!

全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで!!

電話 0258-75-2210  
ファックス 0258-75-2210  
ブログ <https://yosenji.exblog.jp/>  
メール [yosenji1594@gmail.com](mailto:yosenji1594@gmail.com)  
郵便 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚 3883



養泉寺公式 LINE



養泉寺 kids LINE

# 養泉寺 行事カレンダー (10月～2月)

## 報恩講

10月27日(火)、28日(水)

<日程> 両日、午前10時30分～午後12時30分頃まで  
<法話> 渡邊 智龍 師(新潟市 恩長寺 住職)

<詳細>  
一年で一番大切な行事です。ぜひともお参り下さい。コロナのためお齋なし。お供物あり。

## 養泉寺おそうじ隊

10月17日(土)、11月14日(土)

<日程> 両日とも午前9時～正午まで  
<持ち物> 鎌、草刈り機(ある方)、軍手など

<詳細>  
ぜひとも力を貸して下さい。若い方大歓迎! お弁当を用意します。申し込みは不要です。

## おあさじ会

11月28日(土)

<日程> 午前7時～8時頃まで  
<法話> 住職か当院

<詳細>  
親鸞聖人の祥月命日です。おあさじを共に勤め、お話を聞きましょう。お齋なし。申込み不要。

## 除夜の鐘

12月31日(木)

<日程> 午後11時45分頃～108回突き終わるまで  
<詳細> どなたでも突くことができます!

## 年頭

1月1日(金)～5日(火)

<日程>  
終日受け付けます。年始のお香とお土産をご用意してお待ちしています。ご家族皆さんでどうぞ。

## 初お講

1月28日(木)

<日程> 午前10時30分～午後1時30分頃まで  
<法話> 住職、当院

<詳細>  
お齋あり。お酒が出ます。お楽しみ会もあります。どうぞお気軽にお出かけ下さい。

## 世話方・年行司会議

2月下旬～3月初旬予定

<日程> 未定  
<詳細> 対象の方には改めてご連絡いたします。